

## 婦人科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 子宮頸癌の術後補助療法としての taxan/platinum 併用化学療法の有用性について

[研究機関] 北海道大学病院婦人科

[研究責任者] 櫻木 範明 （婦人科・教授）

[研究の目的] 広汎子宮全摘術後の再発高リスク子宮頸癌患者に対する補助療法としてのタキソール/シスプラチン併用化学療法の有用性について検討します。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さん

1988年1月から2007年9月までに広汎子宮全摘術および骨盤リンパ節郭清術を施行し、術後に補助療法を施行した子宮頸癌の患者さん

#### ●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、病期、手術内容、術後補助療法内容、治療後3年までの再発の有無、部位、治療経過、内容、生存の有無

### [個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

### [問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目  
北海道大学病院婦人科 担当医師 保坂 昌芳  
電話 011-706-5941 FAX 011-706-7711